

検定審査不合格となるべき理由書

受理番号 106-260	学校 中学校	教科 技術・家庭	種目 技術・家庭（技術分野）	学年 1-3
--------------	--------	----------	----------------	--------

1. 不合格理由

本申請図書は、義務教育諸学校教科用図書検定基準（平成２９年８月１０日文部科学省告示第１０５号）に照らして、「２．欠陥箇所」のとおり欠陥が多く、教科用図書として適切性を欠いている。

[illegible]

2. 欠陥箇所

受理番号 106-260		学校 中学校		教科 技術・家庭	種目 技術・家庭（技術分野）	学年 1-3
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準	
	ページ	行				
1	3	左段7	化学反応を利用した [134ページ 1行] 化学変化を利用した	表記が不統一である。	3-(4)	
2	9	全体	〔スケールモデル（プラスチックモデル）を製造している企業でのものづくりの例〕 文全体	生徒にとって理解し難い表現である。 （p.8の4～5行目に「P D C Aサイクル」とよばれるプロセスが取り入れられています。」と記載されているが、p.9文全体とどのように関連しているか理解し難い。）	3-(3)	
3	9	29	問題がないと確認されれば、生産がスタートし、製品が販売されます。	生徒にとって理解し難い表現である。 （問題とは何か理解し難い。）	3-(3)	
4	10	9	構想・設計 [中段図] 構想・設計	表記が不統一である。	3-(4)	
			[下段図] 設計・計画			
5	10	16 - 17	P D C Aサイクルの考え方にもとづいて進めていく構成になっています。 〔下段図〕 全体	生徒にとって理解し難い表現である。 （下段図のホップ、ステップ、ジャンプとの関係が理解し難い。）	3-(3)	
6	14	中段表	[作物の栽培・育林]作物の規則性 整地 [家畜の飼育]地域環境 飼育する家畜の習性 飼育する家畜の食性	生徒にとって理解し難い表現である。 （指摘した項目の説明が本文中のどこにあるのかが理解し難い。）	3-(3)	
			[水産生物の栽培・飼育]地域環境 魚介類の特性 魚介類の食性			
7	14	中段表	[作物の栽培・育林]育成環境の管理技術 整地 施肥 種まき（種まきのしかた、種まき方法	生徒にとって理解し難い表現である。 （[80ページ1～2行]「生物育成の技術には、作物の特性や家畜、水産生物の習性や成長段階に合わせて成長を管理する技術と生物が成長しやすいように環境を調節する技術があります。」との関係が理解し	3-(3)	
			の種類、植物を増やす方法など） 作物の管理技術（育林の場合は苗木づくり）（作物の栽培の場合は育苗） 定植 作物の管理技術、植林	難い。）		

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

2. 欠陥箇所

受理番号 106-260		学校 中学校		教科 技術・家庭	種目 技術・家庭（技術分野）	学年 1-3
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
			除草(育林の場合は下草刈り、間伐、枝打ち) 病気や害虫に侵されにくい育成方法 薬品(農薬)の使用量を少なくした病気や害虫の防除方法			
			施肥(追肥) かん水 [家畜の飼育]温度調節 飼育環境の管理技術 給餌			
			成長を管理する 環境を調節する 除ふん 給水 [水産生物の栽培・飼育]栽培・飼育環			
			境の管理技術 養殖技術 増殖技術 移植、放流 [83ページ1～15行]②作物の管理方法			
			作物をじょうぶに育てるためには、～土壌酸度計(pH計)などがあります。 [94ページ1～19行]⑤乳牛の管理技術の例 乳牛を飼育している牧場などは、～各地へ出荷します。			
			[94ページ20～28行]⑥採卵鶏の管理技術の例 卵の品質を考える上で、～対策も行われています。 [95ページ4～6行]水産生物を育てる技術には、放流などによって水産生物を			
			増殖させる増殖技術や水産生物を他の水域から移して繁殖させる移植技術、養殖環境の管理や給餌などによって水産生物を管理する養殖技術があります。			
			[95ページ7～12行]①増殖技術 魚介類は、～できるようになります。 [95ページ13～17行]②移植技術 もともとそこにいなかったり、～注意する必要があります。			
			[96ページ1～5行]③養殖技術 水産生物を～養殖する場合があります。 [98ページ11行]トマトは誘引や摘芽・摘しんといった作業管理 [119ページ1行]環境の管理			
			[119ページ20行]環境の管理 [120ページ9行]環境の管理			

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

2. 欠陥箇所

受理番号 106-260		学校 中学校		教科 技術・家庭	種目 技術・家庭（技術分野）	学年 1-3
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準	
	ページ	行				
8	14	中段表	[作物の栽培・育林]作業計画表 [78ページ中段右]育成計画 [101ページ4行]育成計画 [101ページ5行]育成計画 [101ページ12行]栽培計画	生徒にとって理解し難い表現である。 （「作業計画」「栽培計画」「育成計画」の使い分け方が理解し難い。）	3-(3)	
			[101ページ表 ③計画を立てる]栽培計画 [101ページ表 ③計画を立てる]栽培計画表 [101ページ表 ④栽培する]栽培計画			
			[102ページ1行]栽培計画 [102ページ3行]栽培計画表 [102ページ3行]栽培計画 [102ページ上段表]栽培計画表 [102ページ中段右]栽培計画表の例			
			[106ページ4行]栽培計画 [107ページ8行]栽培計画 [109ページ10行]栽培計画 [110ページ9行]栽培計画 [111ページ8行]栽培計画			
			[118ページ2行]育成計画にもとづいて飼育・栽培			
9	14	中段表	[水産生物の栽培・飼育]移植 [95ページ5行]移植技術 [95ページ13行]②移植技術 [95ページ15行]移植(3か所) [95ページ16行]移植	表記が不統一である。	3-(4)	
			[95ページ17行]移植			
10	14	中段表	[作物の栽培・育林]薬品(農薬) [83ページ9行]農薬 [83ページ下段]※農薬 [88ページ4行]農薬 [88ページ7行]農薬	生徒にとって理解し難い表現である。 （「薬品(農薬)」「農薬」「薬品」の使い分け方が理解し難い。）	3-(3)	
			[89ページ9行]農薬 [98ページ16行]農薬 [101ページ表 ①問題を発見する]農薬 [101ページ表 ②課題を設定する]農			
			薬 [103ページ2行]農薬 [103ページ7行]薬品 [103ページ12行]薬品(2か所) [103ページ上段図]薬品(3か所)			

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

2. 欠陥箇所

受理番号 106-260		学校 中学校		教科 技術・家庭	種目 技術・家庭（技術分野）	学年 1-3
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
			[104ページ10行]農薬 [105ページ6行]農薬 [105ページ11行]農薬 [105ページ11行]薬品 [105ページ12行]農薬			
			[105ページ16行]農薬 [122ページ18行]農薬 [122ページ19行]農薬(2か所)			
11	17	14 － 21	◇3Rと5R (全体)	相互の関連が適切でない。 (「3Rと5R」について統合的な学習との関連が明確でない。)	2-(12)	
12	18	14	防護眼鏡やマスクを必ず着用する。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (どんな時も必ず着用するものと誤解する。)	3-(3)	
13	19	4 － 5	日本産業標準調査会が規格制定を行い、経済産業省が認定します	不正確である。 (産業標準化法に照らして。)	3-(1)	
14	19	中段表	[上表] おもさ グラム(g)	不正確である。 (「グラム(g)」は「おもさ」の単位ではない。)	3-(1)	
15	21 － 77		[インデックス] 3 製作の技術を身につけよう [p.2 目次 左段] 3．製作の技能を身につけよう [p.36 1行目]	表記が不統一である。	3-(4)	
			3．製作の技能を身につけよう			
16	26	14	《発展》	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されていない。	2-(17)	
17	27		[中段図] [下段図] 図全体	生徒にとって理解し難い図である。 (図の説明が不足しており理解し難い。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

2. 欠陥箇所

受理番号 106-260		学校 中学校		教科 技術・家庭	種目 技術・家庭（技術分野）	学年 1-3
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
18	29	上表	〔◇熱可塑性プラスチック ナイロン樹脂 特性〕 引っぱり強さや曲げに優れている。	生徒にとって理解し難い表現である。 （「引っぱり」にのみ「強さ」が記載されている。）	3-(3)	
19	33	5 - 6	焼き入れ、焼き戻し、焼きなまし、焼きならし 〔下段表 ⑤熱処理・表面処理〕 焼入れ・焼戻し・焼なまし・焼ならし	表記が不統一である。	3-(4)	
20	36	下段右図	〔第三角法による投影図で表した製作図の例〕 図全体	生徒にとって理解し難い図である。 （線、数字、文字が不鮮明である。）	3-(3)	
21	37	下段図	〔等角図のかき方〕 図①	生徒にとって理解し難い図である。 （図②③と同一箇所の位置が違う。）	3-(3)	
22	38	上段	〔正投影図〕 右上図 右下図	生徒にとって理解し難い図である。 （どちらが「RVカー」「ワンボックスカー」なのか記載がなく理解し難い。）	3-(3)	
23	38	中段上	〔▼2〕 平画面の平面図	不正確である。	3-(1)	
24	40	中段左図	15キリ（記号：穴深さ）20	生徒にとって理解し難い表現である。 （同ページ上段表の《寸法補助記号の例》に、「穴深さ」の記載がなく理解し難い。）	3-(3)	
25	40	中段左図	穴深さの記号	不正確である。 （JISの寸法補助記号と照らし不正確である。）	3-(1)	
26	40	中段	左図 中図 右図	生徒にとって理解し難い図である。 （各図の寸法線及び引き出し線の矢印の形が違っており理解し難い。）	3-(3)	
27	41	上段図	図④	生徒にとって理解し難い図である。 （図①②③と同一箇所の位置が違う。）	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

2. 欠陥箇所

受理番号 106-260		学校 中学校		教科 技術・家庭	種目 技術・家庭（技術分野）	学年 1-3
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準	
	ページ	行				
28	44	4 － 5	けがきをするときに使用する道具 [p. 44 2行目] けがきに用いる工具 [p. 44 13行目] [p. 45 7行目, 26行目]	表記が不統一である。	3-(4)	
			けがくときに使用する工具 [p. 45 27行目] けがき用具			
29	44	中段図	[◇基準面] 右図 [10～11行目] 材料の長さ方向に測るときの基準面と、幅方向に測るときの基準面の二つが	生徒にとって理解し難い図である。 （図に基準面が1箇所のみで、仕上げ線も記載されていない。）	3-(3)	
			必要です。 [24行目] 仕上げ線			
30	48	下段図	[◇金切りばさみによる切断] 図全体	生徒にとって理解し難い図である。 （図が不鮮明である。）	3-(3)	
31	49	上段図	[◇弓のこによる切断] 図全体	生徒にとって理解し難い図である。 （図、文字が不鮮明である。）	3-(3)	
32	51	2	ならい目削り、 あて止め	生徒にとって理解し難い表現である。 （説明がなく理解し難い。）	3-(3)	
33	55	上段右図	図全体	生徒にとって理解し難い図である。 （図が不鮮明である。）	3-(3)	
34	55	中段	[⑥曲げ加工 薄い金属板 手順] 3つの図全体	生徒にとって理解し難い図である。 （図が不鮮明である。）	3-(3)	
35	56	上段右図	[ジグを用いたおねじ切り加工] 図全体	生徒にとって理解し難い図である。 （図が不鮮明であり、万力がどの部分か理解し難い。）	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

2. 欠陥箇所

受理番号 106-260		学校 中学校	教科 技術・家庭	種目 技術・家庭（技術分野）	学年 1-3
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
36	57	上段右図	[ジグを用いたためねじ切り加工] 図全体	生徒にとって理解し難い図である。 (図が不鮮明である。)	3-(3)
37	63	下段	[ふきつけ塗装] [ひたし塗り] 図全体	生徒にとって理解し難い図である。 (図が不鮮明である。)	3-(3)
38	65	全体	[《導入例：ペン立て》] ページ全体	生徒が自ら活動を行えるよう適切な配慮がされていない。 (何をつくるか明確でなく、実際に製作するための材料や工具・工作機械の使い方、作業内容の具体的な説明が不足している。)	2-(14)
39	65	9	ボール盤 [p. 72 下段左図] ボール盤 [p. 54 5行目] 卓上ボール盤	生徒にとって理解し難い表現である。 (ボール盤と卓上ボール盤の表記の違いが理解し難い。)	3-(3)
40	67	7 - 11	[材料] 文全体 [使用する工具] 文全体	生徒にとって理解し難い表現である。 (「②課題の設定」の段階で材料、使用する工具が確定するのは理解し難い。)	3-(3)
41	67	9	[②丸棒材] Φ	不正確である。 (JISの寸法補助記号と照らし不正確である。)	3-(1)
42	67	12 - 14	③構想 文全体	生徒にとって理解し難い表現である。 (p. 66「問題解決の流れ」の表中の「③構想する」の内容と違いがあるため理解し難い。)	3-(3)
43	67	11	④皿木ねじ Φ4.1×25mm [p. 68 中段右表] ⑥皿木ねじ Φ4.1×25mm	生徒にとって理解し難い表現である。 (Φ)	3-(3)
44	67	15 - 16	④構想の具体化 ●構想図と組み立て図をかこう。	生徒にとって理解し難い表現である。 (p. 66「問題解決の流れ」の表中の「④構想を具体化する」の内容と違いがあるため理解し難い。)	3-(3)
45	67	下段図	[④構想の具現化] 左図 右図	生徒にとって理解し難い図である。 (図名がないため、理解し難い。)	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

2. 欠陥箇所

受理番号 106-260		学校 中学校		教科 技術・家庭	種目 技術・家庭（技術分野）	学年 1-3
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
46	68	1 － 4	⑤設計 ●材料取り図と部品表をかき、段ボールを使って2分の1サイズの模型を製作して、設計の確認をしよう。 〔中段 段ボールで製作した模型の例	生徒にとって理解し難い表現，図である。 （p. 66「問題解決の流れ」の表中の「⑤設計をまとめる」の内容と違いがあるため理解し難い。）	3-(3)	
			〕 図			
47	68	上段右	〔設計用紙の例〕 図全体	生徒にとって理解し難い図である。 （図，文字が不鮮明である。）	3-(3)	
48	68	中段	〔⑤設計〕 左図 右表	生徒にとって理解し難い図である。 （図名，表題がなく理解し難い。）	3-(3)	
49	69	図	〔1 A〕 6-1.5キリ 2-R25 〔1 B〕 6-1.5キリ	不正確である。 （JISに照らし不正確である。）	3-(1)	
			2-R25 〔皿木ねじ用穴〕 Φ8 Φ4.3 〔4 A〕			
			2-6.5キリ 7-1.5キリ 〔4 B〕 7-1.5キリ 〔5〕			
			2-2.4キリ（寸法補助記号：穴深さ） 10 Φ25			
50	70	上段図	図全体 〔2行目〕 木工用接着剤、くぎ、皿木ねじで接合する。	生徒が自ら活動を行えるよう適切な配慮がされていない。 （木工用接着剤の使用箇所が不明確である。）	2-(14)	
51	71	中段	〔材料〕 表全体 〔使用する工具〕 文全体	生徒にとって理解し難い表現である。 （「②課題の設定」の段階で材料および使用する工具が確定するのは理解し難い。）	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

2. 欠陥箇所

受理番号 106-260		学校 中学校		教科 技術・家庭	種目 技術・家庭（技術分野）	学年 1-3
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
52	71	中段	〔使用する工具〕 文全体	生徒にとって理解し難い表現である。 （p. 72～73に記載されている使用する工具の一部が記載されていない。）	3-(3)	
53	71	12 － 13	④構想の具体化 ●3DCADでモデリングしよう。	生徒にとって理解し難い表現である。 （モデリングの説明がなく理解し難い。）	3-(3)	
54	71	14 － 17	⑤設計 ●材料取り図と部品表をかき、段ボール紙を使って2分の1サイズの模型を製作して、設計の確認をしよう。 〔右図〕	生徒にとって理解し難い表現である。 （p. 66「問題解決の流れ」の表中の「⑤設計をまとめる」の内容と違いがあるため理解し難い。）	3-(3)	
			図全体			
55	72	上段	〔⑥製作 ●材料取り〕 図全体	生徒にとって理解し難い図である。 （図全体が不鮮明であり、天板の寸法も理解し難い。）	3-(3)	
56	72	上段	〔⑥製作 ●天板の加工（穴あけ）〕 右上図 Φ（2箇所） 右下図 Φ（2箇所）	不正確である。 （JISと照らし不正確である。）	3-(1)	
57	72	上段	〔⑥製作 ●天板の加工（穴あけ）〕 右上図	生徒にとって理解し難い図である。 （皿の角度）	3-(3)	
58	72	下段	〔⑥製作 ●アルミジョイントの加工〕 左上図 左下図 右下図	生徒にとって理解し難い図である。 （各図の図名がないため本文との関係が理解し難い。）	3-(3)	
59	72	下段	〔⑥製作 ●アルミジョイントの加工〕 左上図 左下図	生徒にとって理解し難い図である。 （図が不鮮明である。）	3-(3)	
60	73	上段	〔●組み立て〕 左図	生徒にとって理解し難い図である。 （文字が不鮮明である。）	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

2. 欠陥箇所

受理番号 106-260		学校 中学校		教科 技術・家庭	種目 技術・家庭（技術分野）	学年 1-3
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
61	73	上段右	【●組み立て】 右上図（3つ）	生徒にとって理解し難い図である。 （図に材料，工具の名称の記載がないため理解し難い。）	3-(3)	
62	74	6 - 10	たとえば、塩ビ（ポリ塩化ビニル）・ ・・・発生します。では、排水管を木や 金属に・・・・どうなるでしょうか。 木は腐食しやすく、金属は重たく・ ・・・メッキ処理をする必要があります	生徒にとって理解し難い表現である。 （トレードオフの観点からの各材料の特徴の比較が 分かりにくい。）	3-(3)	
			。			
63	77	10	右の表では	生徒にとって理解し難い表現である。 （本文の右に表はない。）	3-(3)	
64	78	4 - 5	私たち人間が、作物や家畜、水産生物 などの生物を育成して、自分たちの生 活に役立てることを生物育成といいま す。	生徒にとって理解し難い表現である。 （自分たちの生活に役立てることまでを生物育成と いうことが理解し難い。）	3-(3)	
65	78	6	食料 [79ページ3行]食料 [79ページ上段図]食料 [80ページ3行]食料 [101ページ10行]食料	生徒にとって理解し難い表現である。 （「食料」と「食物」の使い分け方が理解し難い。 ）	3-(3)	
			[122ページ14行]食料 [122ページ18行]食料 [124ページ2行]食料 [124ページ13行]食料 [124ページ20行]食料			
			[124ページ20行]食物 [124ページ21行]食料 [125ページ中段]食料 [126ページ3行]食料			
66	80	6	品種…例えば、リンゴにもさまざまな 種類があるように	生徒にとって理解し難い表現である。 （「品種」と「種類」の違いが理解し難い。）	3-(3)	
67	80	中段表	[成長を管理する技術]水や肥料を与え たりする。 [81ページ上段表 成長を管理する技 術]水や肥料を与える。	生徒にとって理解し難い表現である。 （[81ページ 中段表 環境を調節する技術 土壌的 要素]「土の中の養分・水分」からみて成長を管理す る技術ということが理解し難い。）	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

2. 欠陥箇所

受理番号 106-260		学校 中学校		教科 技術・家庭	種目 技術・家庭（技術分野）	学年 1-3
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準	
	ページ	行				
68	80	中段表	[成長を管理する技術]干し草のほかに炭水化物やタンパク質などをバランスよく配合した餌を与えたりする。 [118ページ16～18行]搾乳中の乳牛には、多くの栄養分が必要なため、牧草	生徒にとって理解し難い表現である。 （どういう状態をバランスがよいのかという説明がなく理解し難い。）	3-(3)	
			のほかに炭水化物やたんぱく質などをバランスよく配合した餌を与えます。			
69	80	中段表	タンパク質 [93ページ15行]たんぱく質 [118ページ17行]たんぱく質 [119ページ16行]たんぱく質	表記が不統一である。	3-(4)	
70	80	中段表	出所：全国海水養魚協会	誤りである。 （「全国海水養魚協会」では資料が見つからない。）	3-(1)	
71	81	1	栄養分 [上段表]実に養分を送る。 [中段表]土壌の養分 [中段表]土の中の養分 [中段表]養分の保持力	生徒にとって理解し難い表現である。 （「栄養分」「養分」「栄養」「栄養素」の使い分け方が理解し難い。）	3-(3)	
			[82ページ7行]養分 [83ページ22行]養分(2か所) [84ページ8行]栄養分 [84ページ中段]必要な栄養を補う [86ページ17行]栄養分			
			[87ページ2行]養分 [87ページ9行]養分 [92ページ8行]養分 [93ページ17行]栄養分 [96ページ12行]栄養分			
			[107ページ下段写真]間引きして、残した苗に養分を集中させる。 [117ページ17行]栄養不足 [117ページ17行]栄養 [118ページ16行]栄養分			
			[126ページ9行]栄養 [126ページ下段図]栄養素 [127ページ1行]栄養素 [127ページ2行]栄養素			
72	81	上段図	（[右の株のトマトの子実の色]下から赤、オレンジ、赤）	生徒にとって理解し難い図である。 （1株に赤とオレンジの色の実が混在していることが理解し難い。）	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

2. 欠陥箇所

受理番号 106-260		学校 中学校		教科 技術・家庭	種目 技術・家庭（技術分野）	学年 1-3
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準	
	ページ	行				
73	81	中段表	[環境を調節する技術]天気、日照、降水量、温度、湿度など。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「天気」が何を意味しているのかが理解し難い。)	3-(3)	
74	81	中段表	[環境を調節する技術]作物は、日光を受けて光合成を行うことで健康に育つため、光を当てる時間を調節する。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「日光を受けて光合成を行うことで健康に育つ」と「光を当てる時間の調節」との関係が理解し難い。)	3-(3)	
75	82	3 - 4	土壌を使わず培養液に根を張らせて作物を育成する水耕栽培	不正確である。 (水耕栽培の説明として不正確である。)	3-(1)	
76	82	4	ロックウール	生徒にとって理解し難い表現である。 (説明がなく理解し難い。)	3-(3)	
77	82	12	家畜のふんなどを発酵させた堆肥 [下段左]※堆肥…家畜のふんを稲わらかオガクズなどに水分を吸収させ、微生物処理したもの。	不正確である。 (堆肥の説明が異なり、またそれらの説明がともに不正確である。)	3-(1)	
78	82	下段左	※腐葉土…広葉樹の落ち葉が堆積して、腐った土。	誤りである。 (「腐った土」が誤りである。)	3-(1)	
79	82	中段右	ピートモス…ミズゴケなどの植物が堆積して腐食したもの	誤りである。 (「腐食したもの」が誤りである。)	3-(1)	
80	83	1 - 15	②作物の管理方法 (全体)	生徒にとって理解し難い表現である。 (作物の管理方法の記載がなく理解し難い。)	3-(3)	
81	83	4 - 7	毎年同じ土で同じ科の作物を栽培すると病害虫が発生しやすくなることがあります。これを連作障害といいます。	不正確である。 (連作障害の説明として不正確である。)	3-(1)	
82	83	7 - 8	同じ土に性質の異なる作物を順に栽培する輪作、	不正確である。 (輪作の説明として不正確である。)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

2. 欠陥箇所

受理番号 106-260		学校 中学校		教科 技術・家庭	種目 技術・家庭（技術分野）	学年 1-3
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
83	83	11	サツマイモは酸性土壌に強く [中段表]全体 [115ページ3行]土壌酸度はpH5.0～6.0 に調整します	生徒にとって理解し難い表現である。 （サツマイモの最適土壌酸度の記載が表にないこと およびハウレンソウは表と異なる記載があることが 理解し難い。）	3-(3)	
			[11～12行]ハウレンソウは酸性土壌が 苦手です。 [中段表 ハウレンソウ]6.5～7.0 [114ページ3～4行]ハウレンソウは酸 性土壌にとっても弱く、中性からアルカ			
			リ性の土壌を好みます。			
84	83	上段表	[生石灰]高温（約960℃）で焼いたもの。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （約960℃で焼いたものだけと誤解する。）	3-(3)	
85	83	中段表	全体	学習上必要な出典が示されていない。	2-(11)	
86	83	下段	病気の発生を防ぐ殺菌剤や、雑草を枯 らすための除草剤	不正確である。 （殺菌剤と除草剤の説明が不正確である。）	3-(1)	
87	84	6 － 7	チッ素、リン酸、カリウムのうち1種 類を含んでいるものを単肥といい、2 種類以上を含んでいるものを化成肥料 といいます。 [87ページ10行]化成肥料	誤りである。 （化成肥料の説明が誤りであるため、それ以降に記 載のある「化成肥料」の使用法も誤りである。）	3-(1)	
			[113ページ4行]化成肥料 [114ページ4～5行]化成肥料 [115ページ4行]化成肥料			
88	84	上段表	[リン酸(P)]成長のさかんな部分(花、 果実、種、新根)の発育に役立つ。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （成長のさかんな部分は花、果実、種、新根だけ であり、それらの部位の発育だけに役立つと誤解する 。）	3-(3)	
89	84	中段	定植	生徒にとって理解し難い表現である。 （説明がなく理解し難い。）	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

2. 欠陥箇所

受理番号 106-260		学校 中学校		教科 技術・家庭	種目 技術・家庭（技術分野）	学年 1-3
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
90	84	下段表	[油かす 特徴] ゆっくりと効果が現れるので、元肥に利用する。また、土壌微生物を増やし、土の団粒化を促す土づくりにも効果がある。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （油かすだけの特徴と誤解する。）	3-(3)	
91	85	4	苗が大きく育った時は、うね間や株間を広げたり、定植(⇒86ページ)をしたりする必要	生徒にとって理解し難い表現である。 （苗のうね間や株間を広げる方法の説明がなく理解し難い。）	3-(3)	
92	85	15 - 16	すじまき 1粒ずつ均等に種をまく方法です。	誤りである。 （すじまきを1粒ずつ均等に種をまくということは誤りである。）	3-(1)	
93	85	21	まいた種の間隔が狭くなるので、発芽後に間引き(⇒86ページ)が必要です。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （ばらまきでは必ず間引きを行う必要があると誤解する。）	3-(3)	
94	85	23 - 26	◇休眠打破 休眠状態にある種・つぼみ・球根などが、刺激を受けたのち、活動状態になることを休眠打破といいます。たとえば、サクラもつぼみは秋から冬にかけて休眠しますが、冬に一	生徒にとって理解し難い表現である。 （休眠の説明がないことおよび[8行（ア）種まき]の項目に記載されていることが理解し難い。）	3-(3)	
			定期間低温にさらされることで刺激を受け、春に開花します。			
95	86	2 - 4	茎や枝の一部を切りとり、土壌などに挿して発根させることを挿し木といい、芽を挿して発根させることを挿し芽といいます。	不正確である。 （挿し木と挿し芽の説明が不正確である。）	3-(1)	
96	86	7 - 8	作物の苗を苗床や鉢から移して、田畑などの最終的に育てる場所に植えることを定植といいます。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （イネも定植という誤解する。）	3-(3)	
97	86	16	じょうぶな苗を残して、細く弱い苗を引き抜く作業を間引きといいます。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （間引きは細く弱い苗だけを引き抜くことと誤解する。）	3-(3)	
98	87	16	土の通気性を高めるために、作物の生育途中で浅くうねを耕すことを中耕といいます。 [103ページ下段表] 中耕…土の通気性を高めるため、浅くうねを耕す。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （中耕の目的と耕す場所を誤解する。）	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

2. 欠陥箇所

受理番号 106-260		学校 中学校		教科 技術・家庭	種目 技術・家庭（技術分野）	学年 1-3
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
99	88	23	メイガのように茎の中に食い入って枯らしたりするものもあります。	不正確である。 （「メイガ」が不正確である。）	3-(1)	
100	89	3 － 4	ウイルスは生きた細胞の中でしか増えず、病気にかかった種や株で広がります。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （ウイルスは病気にかかった種や株に感染すると誤解する。）	3-(3)	
101	89	20 － 21	容器栽培などをした後の土の中に残った作物の根などをふるいにかけて取り除いたりする作業を行います。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （容器栽培以外でも作物の根などを取り除く作業が必要と誤解する。）	3-(3)	
102	90	下段表	[総面積]10,093,422	誤りである。	3-(1)	
103	90	下段表	出典：林野庁「統計情報・森林資料の現状 2022」	誤りである。 （「統計情報・森林資料の現状」という名称のものはない。）	3-(1)	
104	90	下段図	④間伐(10～15年目) ⑤枝打ち(16～25年目)	誤りである。 （間伐の完了後から枝打ちを開始することは誤りである。）	3-(1)	
105	91	8	⑤枝打ち…節の無い木材を生産するため、不要な枝を切り落とします。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （節のない木材を生産するためだけが目的と誤解する。）	3-(3)	
106	92	中段写真	出典：林野庁webサイト	誤りである。 （「林野庁webサイト」では資料が見つからない。）	3-(1)	
107	93	2 － 3	ウシやブタ、ニワトリのように、野生生物であったものを飼育し、繁殖させたものを家畜といいます。	不正確である。 （家畜の説明が不正確である。）	3-(1)	
108	93	12	多くの家畜は、この適温域だと活動が活発になり、生産効率が上がります。	生徒にとって理解し難い表現である。 （活動が活発になることと生産効率の上がることとの関係が理解し難い。） □	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

2. 欠陥箇所

受理番号		106-260		学校 中学校		教科 技術・家庭		種目 技術・家庭（技術分野）		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準						
	ページ	行									
109	93	15 - 16	餌の与えすぎや不足は、家畜の成長に大きな影響を与えます。	生徒にとって理解し難い表現である。 （餌の与えすぎた場合の家畜に与える大きな影響の記載がなく理解し難い。）	3-(3)						
110	93	25	人の手によって管理された状態で家畜の繁殖が行われることがあります。□ □	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （管理されていない状態での繁殖もあると誤解する。）	3-(3)						
111	93	中段	※サイレージ…水分を含んだ牧草や飼料作物を乳酸発酵させて貯蔵性を高めた餌	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （水分が少ない牧草や飼料作物でもサイレージができると誤解する。）	3-(3)						
112	94	上段写真	④加熱・殺菌 [17行]④加熱・殺菌…工場に集められた生乳を、加熱・殺菌し、冷却します。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （工場で生乳をいきなり加熱・殺菌するおよび殺菌以外の目的で加熱すると誤解する。）	3-(3)						
113	94	上段写真	[⑤充填・検査]ビンに入った白い液体の写真 [⑥出荷]紙パックの牛乳の写真	生徒にとって理解し難い表現である。 （ビンに入った白い液体と紙パックの牛乳の関係が理解し難い。）	3-(3)						
114	95	4 - 5	水産生物を育てる技術には、放流などによって水産生物を増殖させる増殖技術や水産生物を他の水域から移して繁殖させる移植技術、 [95ページ14～15行]水産生物を他の水	生徒にとって理解し難い表現である。 （「増殖」と「繁殖」の使い分け方が理解し難い。）	3-(3)						
			域から移して繁殖させることを移植といいます。放流も移植の一部です。移植は水産生物を増殖する方法 [96ページ1行]水産生物を飼育し、繁殖させることを養殖といいます。								
115	95	5 - 6	養殖環境の管理や給餌などによって水産生物を管理する養殖技術 [96ページ1行]水産生物を飼育し、繁殖させることを養殖といいます。	不正確である。 （養殖の説明が不正確である。）	3-(1)						
116	96	4	ブリ、クルマエビ、タイなどは内湾域で浮流しなどで養殖します。 [上段中央図]浮流し養殖	誤りである。 （「浮流し」および内湾域だけで養殖することが誤り。）	3-(1)						
117	96	11	リン [126ページ5行]リン [126ページ7行]リン	表記が不統一である。 （[84ページ1行]「リン酸」と表記が不統一である。）	3-(4)						

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

2. 欠陥箇所

受理番号 106-260		学校 中学校	教科 技術・家庭	種目 技術・家庭（技術分野）	学年 1-3
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準
	ページ	行			
118	96	14 － 15	ノリは海水温が約24℃以上になると成長しにくくなる生物です。	学習上必要な出典が示されていない。	2-(10)
119	96	16 － 17	品種改良によって短期間で収穫できるノリが開発される	学習上必要な出典が示されていない。	2-(10)
120	96	上段図	出典：農林水産省Webサイト	誤りである。 （「農林水産省Webサイト」では資料が見つからない。）	3-(1)
121	97 － 100		2. 技術に込められた問題解決の工夫について考えよう（全体）	生徒にとって理解し難い表現である。 （タイトルと記述内容との関係について理解し難い。）	3-(3)
122	97	11 － 21	(1)イネの品種改良と栽培（全体）	生徒にとって理解し難い表現である。 （栽培に関する記述がなく理解し難い。）	3-(3)
123	97	14 － 16	私たちが普段食べているコメ(白米)は、イネの実からもみ殻と米ぬかを取り除いたものです。	不正確である。 （専門用語として「コメ(白米)」「米ぬか」は不正確である。）	3-(1)
124	97	16 － 17	暑さまたは寒さに強い品種	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （暑さと寒さの両方に強い品種がないと誤解する。）	3-(3)
125	97	18 － 20	ある品種のめしべに違う品種の花粉をかけることによって、例えば、暑さと病気に強く、たくさんの実をつけるといった新しい品種を生み出すことができます。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （めしべに違う品種の花粉をかけることだけが新しい品種を生み出す方法と誤解する。）	3-(3)
126	98	3 － 5	野生種のトマトの果実は小さく、固くて、あまりおいしくありません。やがて直径2cm程度の果実をつける品種が観賞用としてメキシコで栽培される	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （野生種のトマトについて誤解する。）	3-(3)
127	98	7 － 9	トマトは、日本へは江戸時代に伝わり、はじめは観賞用として栽培されていましたが、昭和時代に品種改良によって甘みのある品種が生まれ、食用として広がりました。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （観賞用が食用に品種改良されたと誤解する。）	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

2. 欠陥箇所

受理番号 106-260		学校 中学校		教科 技術・家庭	種目 技術・家庭（技術分野）	学年 1-3
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
128	98	11 - 12	また、トマトは誘引や摘芽・摘しんといった作業管理が必要な作物	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （全ての食用目的のトマトの栽培で必要と誤解する。）	3-(3)	
129	99	下段	ただし、改正種苗法で、品種登録された作物の種などを使って栽培する場合は作物の開発者の許諾が必要です。そのため、収穫したものを販売したり、配ったりすることはできません。家庭	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （品種登録された全ての品種に法律の効力が及びことおよび開発者の許諾があっても販売したり、配ったりできないと誤解する。）	3-(3)	
			で消費するようにしましょう。			
130	99	下段	改正種苗法	不正確である。	3-(1)	
131	104	表	[中段]かん水ホース(2か所)写真	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （写真全体をかん水ホースと誤解する。）	3-(3)	
132	104	表	[中段]かま狭い場所の雑草の刈り取りやイネの収穫に用いる。写真	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （写真のかまは狭い場所の雑草の刈り取りにしか使用できず、また一般的にイネの収穫に用いると誤解する。）	3-(3)	
133	106	1	育成例：容器を利用したトウモロウの栽培 [107ページ1行] 育成例：鉢を利用したダイコンの栽培 [108ページ1行] 育成例：鉢を利用した	生徒にとって理解し難い表現である。 （同一文内における「育成」と「栽培」の使い分け方が理解し難い。）	3-(3)	
			ニンジンとゴボウの栽培 [109ページ1行] 育成例：プランターを利用したミニトマトの栽培 [110ページ1行] 育成例：容器を利用したレタスの栽培			
			[111ページ1行] 育成例：容器を利用したミニヒマワリの栽培 [112ページ1行] 育成例：トマトの露地栽培 [113ページ1行] 育成例：ナスの露地栽			
			培 [114ページ1行] 育成例：ハウレンソウの露地栽培 [115ページ1行] 育成例：サツマイモの露地栽培			

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

2. 欠陥箇所

受理番号 106-260		学校 中学校		教科 技術・家庭	種目 技術・家庭（技術分野）	学年 1-3
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
134	106	上段写真	肥料 [中段表]全体 [109ページ中段]写真 [下段表]全体	生徒にとって理解し難い表，写真である。 （表の中に肥料を必ず使用するという記載がなく理解し難い。）	3-(3)	
135	106	上段左	収穫目安 [107ページ上段左]収穫目安 [108ページ中段表]収穫までの日数 [109ページ上段左]収穫目安 [110ページ上段左]収穫目安	生徒にとって理解し難い表現である。 （「収穫目安」「収穫までの日数」の使い分け方が理解し難い。）	3-(3)	
136	106	中段表	[②種まき 内容]もう一度かん水 [②種まき 使用するもの]種 [107ページ中段表②種まき 内容]もう一度かん水	生徒にとって理解し難い表現である。 （かん水を行うのに使用するものがないことが理解し難い。）	3-(3)	
			[107ページ中段表②種まき 使用するもの]種 [109ページ下段表②種まき 内容]もう一度かん水			
			[109ページ下段表②種まき 使用するもの]種 [110ページ下段表②種まき 内容]もう一度かん水			
			[110ページ下段表②種まき 使用するもの]種 [111ページ下段表②種まき 内容]もう一度かん水			
			[111ページ下段表②種まき 使用するもの]種			
137	107	上段左	ダイコン [7行]収穫目安：およそ45日 [108ページ中段表]ニンジン [108ページ中段表]収穫までの日数	生徒にとって理解し難い表現，写真である。 （ダイコン、ニンジン、ゴボウは作物名と日数の関係、レタスは作物名と日数と写真の関係が理解し難い。）	3-(3)	
			およそ70日 [108ページ中段表]ゴボウ [108ページ中段表]収穫までの日数およそ45日			
			[110ページ1行]レタス [110ページ8行]収穫目安：およそ45日 [110ページ上段右]写真			

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

2. 欠陥箇所

受理番号 106-260		学校 中学校		教科 技術・家庭	種目 技術・家庭（技術分野）	学年 1-3
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
138	107	中段表	種をばらまきする。 [下段写真 発芽]写真	生徒にとって理解し難い表現，写真である。 （ばらまきした時の写真であることおよび[85ページ12～14行]「点まきをする作物としては、ダイコンやラディッシュ、スイートピーなどがあります。」と異なることが理解し難い。）	3-(3)	
139	109	下段表	葉が黄緑色になる場合は肥料を培養土の表面にまく。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （葉が黄緑色になる原因にかかわらず肥料をやるとよいと誤解する。）	3-(3)	
140	109	下段表	種をばらまきする。 [111ページ下段表]種をばらまきする。	生徒にとって理解し難い表現である。 （記載の作物をばらまきすることが理解し難い。）	3-(3)	
141	110	2	レタスは、室内の日光が当たる場所で比較的簡単に育てることができるレタスを栽培しましょう。	生徒にとって理解し難い表現である。 （「レタス」が1文中に2回記載されており理解し難い。）	3-(3)	
142	110	下段表	種を1か所に片寄らないようにしてまく。	生徒にとって理解し難い表現である。 （種まきの方法が記載されておらず理解し難い。）	3-(3)	
143	112		[トマトの露地栽培]全体	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （元肥の記載がなく一般的には元肥は不要と誤解する。）	3-(3)	
144	112	6 - 8	セルトレイなどを使って種まきから始める場合は、発芽してから定植できる大きさの苗に育つまで、50～60日かかります。苗を使う場合は、直径12～15cmのポットで育てます。	生徒にとって理解し難い表現である。 （セルトレイで50～60日あるいは90日育てることおよび種まきから始めても苗を定植するので「苗を使う場合」が理解し難い。）	3-(3)	
			[113ページ6～7行]セルトレイなどを使って種まきから始める場合は、発芽してから定植できる大きさの苗に育つまで、約90日かかります。苗を使う場合は、直径12～15cmのポットで育てま			
			す。			
145	112	10 - 11	最低気温10℃、最低地温15℃以上になった頃に定植します。 [113ページ9～10行]最低気温10℃、最低地温15℃以上になった頃に定植します。	生徒にとって理解し難い表現である。 （「最低気温10℃」と限定していることが理解し難い。）	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

2. 欠陥箇所

受理番号		106-260		学校	中学校	教科	技術・家庭	種目	技術・家庭（技術分野）	学年	1-3
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準						
	ページ	行									
146	112	中段図	天肥(有機質肥料)	生徒にとって理解し難い表現である。 (「天肥」が理解し難い。)	3-(3)						
147	112	下段図	[右端の図]上2枚の葉の周辺の図	誤りである。 (生長点がないことおよび葉のつき方が誤り。)	3-(1)						
148	113	3 - 4	土づくりでは、堆肥や苦土石灰をまいてくわなどで混ぜます。また、チッ素・リン酸・カリを含む化成肥料を土全体にまきます。 [114ページ4～6行]まず牛ふん堆肥を	生徒にとって理解し難い表現である。 (土壌酸度に関係なく苦土石灰をまくこと、「苦土石灰」「化成肥料」「牛ふん堆肥」に限定していることおよびどのように化成肥料を土全体にまくかが理解し難い。)	3-(3)						
			まき、1週間ほどあけて苦土石灰と化成肥料をまいてくわなどで混ぜます。その後、7日～10日あけて種まきをします。 [115ページ3～4行]土壌酸度はpH5.0～								
			6.0に調整します。その後、定植の1週間ほど前に堆肥とチッ素分の少ない化成肥料をまいて土を混ぜます。								
149	113	6 - 7	セルトレイなどを使って種まきから始める場合は、発芽してから定植できる大きさの苗に育つまで、約90日かかります。 [113ページ上段図]種まきから定植の	相互の関連が適切でない。 (発芽や種まきしてから定植までの日数が異なっている。)	2-(12)						
			日数								
150	113	中段図	うね幅150～180cmの指示位置	不正確である。	3-(1)						
151	113	下段図	主枝 側枝	生徒にとって理解し難い表現である。 (説明がなく理解し難い。)	3-(3)						
152	114	11 - 12	かぶせる土の厚さを一定にすることで、発芽のむらをなくすことができます。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (かぶせる土の厚さを一定にすると発芽のむらが完全になくなると誤解する。)	3-(3)						

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

2. 欠陥箇所

受理番号		106-260		学校	中学校	教科	技術・家庭	種目	技術・家庭（技術分野）	学年	1-3
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準						
	ページ	行									
153	116	21	芽の茎	生徒にとって理解し難い表現である。	3-(3)						
154	117	9 - 10	多湿の状態が続くと、土の水はけが悪くなります。この場合も風通しを良くするなどの対策をします。	生徒にとって理解し難い表現である。 （多湿の状態が続くと、土の水はけが悪くなる理由、風通しを良くすると水はけはよくなる理由が理解し難い。）	3-(3)						
155	118	1	家畜と水産生物の飼育 [2行]家畜や水産生物も～飼育・栽培されています。 [5行]家畜の飼育または水産生物の育成	表記が不統一である。	3-(4)						
			[中段図]水産生物の飼育・栽培 [120ページ 調べてみよう]水産生物の栽培・飼育								
156	119	2 - 3	乳牛の飼育に適した温度は4～24℃です。およそ25℃以上になると乳牛は暑さでストレスを受け始める	誤りである。 （温度が25℃以上のいう記載は出典にない。）	3-(1)						
157	119	16 - 17	成長に合わせて、炭水化物やたんぱく質、ビタミンなどを含んだ総合飼料と水を与えます。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （必ず総合飼料を与えると誤解する。）	3-(3)						
158	119	25 - 26	1日のうち明るい時間がおよそ10～16時間になると、採卵鶏は活発に産卵する [下段]（出典：全国農業協同組合連合会「ちくさんクラブ2」No. 78(20123)	不正確である。 （「10～16時間」と「ちくさんクラブ2」No. 78(20123)」が不正確である。）	3-(1)						
			) □								
159	120	2 - 3	キンギョは、突然変異で体の色が赤くなったものを交配させて、	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （体の赤くないキンギョが突然変異で体の色が赤くなったと誤解する。）	3-(3)						
160	120	5 - 6	餌の量が多くなりすぎないように調整します。	生徒にとって理解し難い表現である。 （「調整」が理解し難い。）	3-(3)						

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

2. 欠陥箇所

受理番号 106-260		学校 中学校		教科 技術・家庭	種目 技術・家庭（技術分野）	学年 1-3
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
161	121	3	完全養殖とは、卵から成魚になるまで人の手で育てる養殖方法	不正確である。	3-(1)	
162	122	14	生物育成では、食料を安定して生産・供給 [18行]農薬の使用は、病虫害の発生を防ぎ、食料を安定して得る	生徒にとって理解し難い表現である。 （[78ページ6～7行]「私たちは食料、衣類、住居、エネルギー資源などを手に入れて、」[124ページ2～3行]「生物育成の技術は、食料やバイオエタノールなどの燃料、木材などの材料の生産や、花壇や緑地	3-(3)	
				等の生活環境の整備など」からみて「食料」だけ記載されていることが理解し難い。）		
163	123	下段	[考えてみよう]クローン技術とは、細胞分裂した受精卵から得た細胞や皮ふなどの体細胞を増やして、遺伝的に同じ個体をつくり出す技術	不正確である。	3-(1)	
164	124	12 － 25	(1)食品ロスと食料自給率 （全体）	生徒にとって理解し難い表現である。 （[124ページ1行]「技術の将来について考えよう」との関係が理解し難い。）	3-(3)	
165	124	18 － 19	食生活の変化などにともない、コメや野菜の摂取量が減り、肉や油脂類の摂取量が増えていて、	学習上必要な出典，年次が示されていない。	2-(11)	
166	125	中段	※カロリーベース…国民1人あたりの1日の摂取カロリーのうち、国産品が占める割引を計算したもの。 ※生産額ベース…食料の生産額から、飼育や原料などの輸入額を差し引いて	誤りである。	3-(1)	
			計算したもの。			
167	127	5	USDA（オーガニック認証）の取得が認められています。 [中段]※USDA…米国農務省が管轄する機関が定めるオーガニック食品基準をクリアした商品に与えられる認証のこ	誤りである。 （USADは取得するものでもなく、認証でもない。）	3-(1)	
			と。化学肥料や指定外の農薬、遺伝子組換え技術を使わない方法で生産された農産物や畜産物が対象。			

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

2. 欠陥箇所

受理番号		106-260		学校	中学校	教科	技術・家庭	種目	技術・家庭（技術分野）	学年	1-3
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準						
	ページ	行									
168	129	下段表	[2段目] 水が流れ落ちる力で水車の回転を発電機に伝え、電気エネルギーを得る。	生徒にとって理解し難い表現である。 （水のエネルギー変換について理解し難い。）	3-(3)						
169	130	上段図	力学的エネルギー [5行] 運動エネルギー	表記が不統一である。	3-(4)						
170	130	2 － 3	コイルや磁石を動かすことで電流が流れる現象	生徒にとって理解し難い表現である。 （電磁誘導について理解し難い。）	3-(3)						
171	130	8	水蒸気の圧力で発電機を回転させて発電しています	生徒にとって理解し難い表現である。 （火力発電所や原子力発電所，バイオマス発電所のエネルギー変換について理解し難い。）	3-(3)						
172	130	9 － 10	水力発電所では水が流れる力で、風力発電所は風の力でそれぞれ発電機を回転させて発電しています。	生徒にとって理解し難い表現である。 （水力発電所と風力発電所のエネルギー変換について理解し難い。）	3-(3)						
173	130	11 － 14	火力発電の基本構造（全体）	生徒にとって理解し難い表現である。 （火力発電の基本構造について理解し難い。）	3-(3)						
174	130	12	蒸気 [13行] 蒸気	生徒にとって理解し難い表現である。 （8行「水蒸気」に照らして理解し難い。）	3-(3)						
			[下段右図] 蒸気								
175	131	18 － 20	また、エネルギー変換効率について考えるときは、石油などを輸送するために必要なタンカーの燃料や発電所の建設費用、発電時の排熱などによる環境への影響などについても考える必要が	生徒にとって理解し難い表現である。 （「エネルギー変換効率」と「石油などを輸送するために必要なタンカーの燃料や発電所の建設費用、発電時の排熱などによる環境への影響」との関係について理解し難い。）	3-(3)						
			あります。								

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

2. 欠陥箇所

受理番号 106-260		学校 中学校		教科 技術・家庭	種目 技術・家庭（技術分野）	学年 1-3
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
176	131	下段表	エネルギー資源別のエネルギー変換効率 （全体）	不正確である。 （出典に照らして。）	3-(1)	
177	133	4 － 7	電圧の大きさや向きが1秒間に変化する回数のことをいいます。例えば、50Hz（ヘルツ）は、1秒間に50回変化している	生徒にとって理解し難い表現である。 （周波数について理解し難い。）	3-(3)	
178	133	13	東京の変電所	不正確である。 （「変電所」）	3-(1)	
179	134	上段右図	マンガン乾電池 （全体） アルカリ乾電池 （全体）	生徒にとって理解し難い図である。 （説明がなく理解し難い。）	3-(3)	
180	136		（ページ全体）	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されていない。	2-(17)	
181	142	表	[7段目 ウォームギヤ] ピニオン（2箇所）	不正確である。 （「ピニオン」）	3-(1)	
182	143	中段図	[3の図] ピンクの棒 黄色の棒	不正確である。 （2つの棒の関係）	3-(1)	
183	145	2	クランク連節棒	誤記である。	3-(2)	
184	146	下段表	[1段目] 最も一般的なねじ。	生徒にとって理解し難い表現である。 （ねじは用途に合わせて使われるため理解し難い。）	3-(3)	
185	148	4	潤滑油またはマシンオイル	生徒にとって理解し難い表現である。 （「マシンオイル」は「潤滑油」の一種であり理解し難い。）	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

2. 欠陥箇所

受理番号 106-260		学校 中学校		教科 技術・家庭	種目 技術・家庭（技術分野）	学年 1-3
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
186	148	表	[2段目] 玉と軸が接触するため	生徒にとって理解し難い表現である。 （左図で玉と軸は接触しておらず理解し難い。）	3-(3)	
187	148	表	[3段目] ころと軸の接触面積が広い	生徒にとって理解し難い表現である。 （左図でころと軸は接触しておらず理解し難い。）	3-(3)	
188	162	12 - 17	《参考》抵抗値 （全体） [下段右表] 抵抗器のカラーコード	生徒にとって理解し難い表現，表である。 （カラーコードの表示や読み方についての説明がなく理解し難い。）	3-(3)	
			（全体）			
189	163		[下段 3つの回路図] トランジスタの図記号（3箇所） [173ページ 上段右 回路図] トランジスタの図記号	不正確である。 （161ページ下段囲みのトランジスタの図記号に照らして。）	3-(1)	
190	164		《導入例：LEDを用いた電気回路》 （全体）	生徒が自ら活動を行えるよう適切な配慮がされていない。 （必要部品とその仕様，製作手順と留意点などの説明が不足している。）	2-(14)	
191	165	上段図	機構部品の例 （全体）	生徒にとって理解し難い図である。 （形状や寸法が不明確で製作品について理解し難い。）	3-(3)	
192	165		[中段 右囲み] ベースに取りつける [166ページ 上段 左囲み] ベースを組み立てて	生徒にとって理解し難い表現である。 （「ベース」）	3-(3)	
			[166ページ 上段 右囲み] ベースに取りつける			
193	165	下段図	[右下] 240度	誤記である。	3-(2)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

2. 欠陥箇所

受理番号 106-260		学校 中学校		教科 技術・家庭	種目 技術・家庭（技術分野）	学年 1-3
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
194	168	下段囲み	[②抵抗器] 1k Ω [172ページ 下段囲み ④抵抗器] 56k Ω	誤りである。 (単位の表記)	3-(1)	
195	169		[上段] ⑤設計 (全体)	生徒にとって理解し難い表現である。 (部品図や設計図がなく製作品について理解し難い。)	3-(3)	
196	169	上段右図	[回路図] 直流6V	不正確である。 (168ページの必要な部品の「乾電池単3×2本」, 169ページの上段中央図に照らして。)	3-(1)	
197	169		[中段] ⑥製作 (全体)	生徒が自ら活動を行えるよう適切な配慮がされていない。 (部品の仕様, 製作手順や留意点などの説明が不足している。)	2-(14)	
198	170	5 - 8	●非常時にも役立つ、持ち運びができるライトが欲しいな。 ●海中電灯としてだけでなく、部屋全体を照らすことができる機能があると便利だな。	生徒にとって理解し難い表現である。 (167ページ中段表に照らして理解し難い。)	3-(3)	
199	171		[上段] ⑤設計 (全体)	生徒にとって理解し難い表現である。 (部品図や設計図がなく製作品について理解し難い。)	3-(3)	
200	171	上段中央図	LEDの上にある(-)の記号 (3箇所)	生徒にとって理解し難い表現である。 (どのようなことか理解し難い。)	3-(3)	
201	171		[中段] ⑥製作 (全体)	生徒が自ら活動を行えるよう適切な配慮がされていない。 (部品の仕様, 製作手順や留意点などについて説明が不足している。)	2-(14)	
202	172	下段囲み	①ラジオ×1セット (ラジオ基板・LED回路基板)	生徒にとって理解し難い表現である。 (「LED回路基板」)	3-(3)	
203	172	下段囲み	④抵抗器 100Ω×1個, 56k Ω×1個	不正確である。 (173ページ上段右図に照らして。)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

2. 欠陥箇所

受理番号 106-260		学校 中学校		教科 技術・家庭	種目 技術・家庭（技術分野）	学年 1-3
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
204	172	下段囲み	[⑥トランジスタ] 25C1815	誤記である。	3-(2)	
205	172	16 - 19	《製作手順》 (全体)	生徒にとって理解し難い表現である。 (主たる製作品であるラジオの製作がなく理解し難い。)	3-(3)	
206	172	19	筐体 [173ページ 7行] ケース	表記が不統一である。	3-(4)	
207	173		[上段] ⑤設計 (全体)	生徒にとって理解し難い表現である。 (部品図や設計図がなく製作品について理解し難い。)	3-(3)	
208	173	上段左写真	[右側] 乾電池の部分	生徒にとって理解し難い写真である。 (必要な部品「乾電池単3×3個」，CADソフトを使ったシミュレーションの例，下段左写真において乾電池は3個であり試作・実験で乾電池を2個とすることについて理解し難い。)	3-(3)	
209	173	上段中央図	ブレッドボードの部分	生徒にとって理解し難い図である。 (部品の接続について理解し難い。)	3-(3)	
210	173	上段中央図	[トランジスタの表記] P	生徒にとって理解し難い表現である。 (どのようなことか理解し難い。)	3-(3)	
211	173	上段右図	[回路図] 3V	不正確である。 (172ページの必要な部品の「乾電池単3×3個」，173ページの上段中央図，173ページ下段左写真に照らして。)	3-(1)	
212	173		[中段] ⑥製作 (全体)	生徒が自ら活動を行えるよう適切な配慮がされていない。 (部品の仕様，製作手順や留意点などについて説明が不足している。)	2-(14)	
213	174	5 - 6	●ペーパークラフト機構模型を自動で動くようにしたいな	生徒にとって理解し難い表現である。 (167ページ中段表に照らして理解し難い。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

2. 欠陥箇所

受理番号 106-260		学校 中学校		教科 技術・家庭	種目 技術・家庭（技術分野）	学年 1-3
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
214	174	8	●ユニークな動きをするロボットを製作してきょうだいといっしょに遊ぼう。	生徒にとって理解し難い表現である。 （課題の設定について理解し難い。）	3-(3)	
215	174	11	モータとギアが筐体に組み込まれたものの。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （一般的なギヤードモータについて誤解する。）	3-(3)	
216	174	11	ギア	生徒にとって理解し難い表現である。 （152ページ16行「ギヤ」、227ページ下段※「ギヤ」に照らして理解し難い。）	3-(3)	
217	175		[上段] ⑤設計 （全体）	生徒にとって理解し難い表現である。 （製作品の電気回路に関する部品図や設計図などがなく製作品について理解し難い。）	3-(3)	
218	175	上段図	動力部の例 （全体）	生徒にとって理解し難い図である。 （形状や寸法が不明確で製作品について理解し難い。）	3-(3)	
219	175		[中段] ⑥製作 （全体）	生徒が自ら活動を行えるよう適切な配慮がされていない。 （部品の仕様、製作手順や留意点などについて説明が不足している。）	2-(14)	
220	175	12	「もっと楽しい動きをする機構模型をつくって、ギヤードモータで動かしてみたいな」	生徒にとって理解し難い表現である。 （「評価・改善」についての記述として理解し難い。）	3-(3)	
221	177	1	設計をまとめる	生徒にとって理解し難い表現である。 （167ページの《問題解決の流れ》との関連について理解し難い。）	3-(3)	
222	177		（ページ全体）	生徒にとって理解し難い表現である。 （設計図や部品図などがなく製作品について理解し難い。）	3-(3)	
223	178		⑥製作 （全体）	生徒が自ら活動を行えるよう適切な配慮がされていない。 （部品の仕様、製作手順や留意点などの説明が不足している。）	2-(14)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

2. 欠陥箇所

受理番号		106-260		学校	中学校	教科	技術・家庭	種目	技術・家庭（技術分野）	学年	1-3
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準						
	ページ	行									
224	179	中段表	[太陽光発電の技術] 充電時に	生徒にとって理解し難い表現である。 （どのようなことか理解し難い。）	3-(3)						
225	183	8 － 9	下の表は、2019年に文部科学省から公表された学習用端末の標準仕様です。 （以下 表）	最新のものをを用いておらず、学習上の支障を生ずるおそれがある。 （2024年1月29日に、新しい「学習者用コンピュータ最低スペック基準」を公表）	2-(11)						
226	184	上表	情報通信ネットワークがなかった時代 情報通信ネットワークの発達	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （コンピュータネットワークと誤解する。）	3-(3)						
227	184	上表	表の中、3つに分ける横の区切り	生徒にとって理解し難い表である。 （横の繋がり）	3-(3)						
228	185	5 － 7	デジタル温度計は、決められた時間ごとに温度を測定し、数字で表現しています。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （「決められた時間ごとに温度を測定」）	3-(3)						
229	186	4	1111. 0011. 1110. 1000. 0110. 1100. 1110	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （ピリオドの意味）	3-(3)						
230	186	中表	計算 ・時間に関係なく、決められたプログラム通りに処理を実行できる。 （以下 7行 アナログ情報をデジタル化することに	生徒にとって理解し難い表である。 （「時間に関係なく」）	3-(3)						
			は次のような利点があります。）								
231	188	17	RAM (Ramdom Access Memory)	誤記である。 （「Random」）	3-(2)						
232	188	21 － 23	学習用端末やデスクトップ型コンピュータ、ノート型コンピュータなどでは、主記憶装置はハードディスク (HDD) として組み込まれています。	誤りである。 （ハードディスク）	3-(1)						

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

2. 欠陥箇所

受理番号		106-260		学校	中学校	教科	技術・家庭	種目	技術・家庭（技術分野）	学年	1-3
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準						
	ページ	行									
233	188	23 - 24	また，補助記憶装置にはストレージまたはROM(…)があり，	誤りである。 (ROM)	3-(1)						
234	189	18 - 20	記憶媒体 （3カ所） （以下 186ページ13行，187ページ1行 記録媒体）	表記が不統一である。	3-(4)						
235	194	19	ネットフィッシング （以下 196ページ上表 フィッシング）	表記が不統一である。	3-(4)						
236	198	15 - 16	ハッキング攻撃を受けたとき （以下 196ページ上表 ハッキング ハッキングのうち，…不正行為はクラッキングという。）	相互に矛盾している。	3-(1)						
237	199	12	学習スピードが早い （以下 237ページ9行）	誤記である。 （「早い」）	3-(2)						
238	201	右下	<input class="…" type="…" value="…">	生徒にとって理解し難い表現である。 （プログラムの内容）	3-(3)						
239	202	上表	MakeCode	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)						
240	202	上表	HTML …。プログラミング言語のように計算や動作を指示することはできない。 CSS HTMLで作られたテキストに対し、装飾をつけたりレイアウトを調整し	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （CSSは計算や動作の指示ができると誤解する。）	3-(3)						
			たりする言語。								
241	206	右上図	加速度センサー&地磁気センサ	表記が不統一である。	3-(4)						

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

2. 欠陥箇所

受理番号 106-260		学校 中学校		教科 技術・家庭	種目 技術・家庭（技術分野）	学年 1-3
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
242	206	中左図	画面左上 Microsoft micro:bit	特定の営利企業，商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
243	208	1	インターネットブラウザ （以下 8行 Webブラウザ 12行 ブラウザ 209ページ4, 5行 インターネットブラ	表記が不統一である。	3-(4)	
			ウザ)			
244	208	12 - 13	ブラウザにURLを入力してテキストエ ディタを起動する。	生徒にとって理解し難い表現である。 （「ブラウザにURLを入力してテキストエディタを起 動」）	3-(3)	
245	209	2	CSSのファイル（保存先）を作成し， （以下 同ページ上図，中下図，下図 ）	相互に矛盾している。 （本文やプログラム3行目にスタイルは別ファイル に保存すると書いてあるが，実際は元のHTMLファイ ル内にスタイルが記述されている。）	3-(1)	
246	209	上図	3 <link rel=""stylesheet" href=""./style.css"> 4 <script src=""program".js></script> （以下 同ページ中下図，下図）	不正確である。 （二重引用符）	3-(1)	
247	213	中表	⑦評価・改善する プログラムを実行して，問題なく動作 するか確認する。問題があればデバッ グを行う。	生徒にとって理解し難い表現である。 （「評価・改善」をしていない）	3-(3)	
248	214	右下	アクティビティ図	生徒にとって理解し難い図である。 （図が不鮮明である。）	3-(3)	
249	214	右下	アクティビティ図 ボタンを押す（データを送る）→デー タを受信する 音が鳴る←データを返信する	誤りである。 （図記号）	3-(1)	
250	216	2 - 3	⑦評価・改善 ●設計したとおりに動作するか確認す る。問題がある場合はデバッグを行う 。	生徒にとって理解し難い表現である。 （「評価・改善」をしていない。）	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

2. 欠陥箇所

受理番号 106-260		学校 中学校		教科 技術・家庭	種目 技術・家庭（技術分野）	学年 1-3
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
251	216	中	解答者側のプログラム	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （同じプログラムを使えと誤解する）	3-(3)	
252	217 - 218		《制作例：クイズのプログラミング》 （全体）	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 （内容D(2)「ネットワークを利用した双方向性のあるコンテンツのプログラミングによって解決する活動を通して」）	2-(1)	
253	218	3 - 4	⑦評価・改善 ●プログラムを実行し、設計したとおりに動作するか確認する。	生徒にとって理解し難い表現である。 （「評価・改善」をしていない。）	3-(3)	
254	218	6	完成したプロジェクトを共有機能を使ってインターネットブラウザ上で公開する。	生徒にとって理解し難い表現である。 （「共有機能」「インターネットブラウザ上で公開」）	3-(3)	
255	220	3 - 6	⑦評価・改善 … ●…，設計したとおりに動作するか確認する。問題がある場合はデバッグを行う。	生徒にとって理解し難い表現である。 （「評価・改善」をしていない。）	3-(3)	
256	222	4 - 5	①問題の発見 ●「夜、家族が帰宅したときにお出迎えしてくれるものがあるといいな」	生徒にとって理解し難い表現である。 （221ページ中段表に照らして理解し難い。）	3-(3)	
257	222	19	音声をプログラミングして学習用端末などのスピーカから出力できるようになる	生徒にとって理解し難い表現である。 （音声をプログラミング）	3-(3)	
258	222	20	あるのて	誤記である。	3-(2)	
259	223	上	Scratchのプログラム （以下 222ページ右下 アクティビティ図）	相互に矛盾している。 （「明るいとき」の処理）	3-(1)	
260	223	6 - 7	⑦評価・改善 ●…。問題がある場合はデバッグを行う。 （以下 221ページ表 ⑥製作とプログラミング …。プログ	相互に矛盾している。 （どの段階か）	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

2. 欠陥箇所

受理番号		106-260		学校	中学校	教科	技術・家庭	種目	技術・家庭（技術分野）	学年	1-3
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準						
	ページ	行									
			ラムに問題があればデバッグを行う。)								
261	225	右下	プログラム (以下 226ページ中 プログラム 225ページ上 アクティビティ図)	相互に矛盾している。 (elseの処理)	3-(1)						
262	226	9 - 15	⑦プログラムファイルの転送 … 再度プログラムを転送して動作を確認 します。	生徒にとって理解し難い表現である。 (動作確認が重複)	3-(3)						
			⑧評価・改善 ●プログラムを実行し、設計したとお りに動作するか確認する。								
263	227	4 - 5	①問題の発見 ●「ペーパークラフト機構模型をプ ログラミング制御したいな」	生徒にとって理解し難い表現である。 (221ページ中段表に照らして理解し難い。)	3-(3)						
264	227	下	製作の手順 ①電気回路と動力部を組み立てる ②基板を動力部に固定する ③動力部にカム機構・クランク機構の ペーパークラフトを接続する。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「電気回路」「動力部」が、上の「使用する部品 」のどれで構成されるのか説明がない)	3-(3)						
265	227 - 229		《製作・制作例：プログラミングで動 作するペーパークラフト機構模型》 (全体)	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切 である。 (内容D(3)「計測・制御のプログラミングによって 解決する活動を通して」)	2-(1)						
266	228	5	ボタンBを押すと、停止する。 (以下 右上 アクティビティ図 同ページ11行 ボタンBを押すと「Stop」と表示され	相互に矛盾している。 (Stop表示の有無)	3-(1)						
			、停止する。)								
267	229	1 - 3	⑦評価・改善 ●…。設計した通りに実行されない場 合はデバッグを行い、 (以下 221ページ表 ⑥製作とプログラミング …。プログ	相互に矛盾している。 (どの段階か)	3-(1)						

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

2. 欠陥箇所

受理番号 106-260		学校 中学校		教科 技術・家庭	種目 技術・家庭（技術分野）	学年 1-3
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
			ラムに問題があればデバッグを行う。)			
268	230	4 － 5	①問題の発見 ●「障がい物を避けて走行するロボットが欲しいな」	生徒にとって理解し難い表現である。 (221ページ中段表に照らして理解し難い。)	3-(3)	
269	230	7	障がい物に当たったときの音を感知して、 (以下 5行 障がい物を避けて走行するロボットが欲しいな)	相互に矛盾している。	3-(1)	
270	232	上	プログラム (以下 231ページ上 アクティビティ図)	相互に矛盾している。 (最初が動作「前進」か判断か)	3-(1)	
271	237	13 － 15	質問を入力すると、…回答を生成する対話型生成AIや、テキストを入力すると画像を生成するプロンプト型生成AIなどがあります。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「質問を入力すると」「テキストを入力すると」「画像を生成するプロンプト型生成AI」)	3-(3)	
272	239	7	日本で開発された先進7か国デジタル・技術相会合で、	誤記である。 (開発)	3-(2)	
273	239	7 － 8	AIなど新しい技術の技術の適切な活用に向けた	誤記である。	3-(2)	
274	239	8	③適性な手続き	誤記である。 (「適性な」)	3-(2)	
275	240	9	さまざまなこと学びました	脱字である。	3-(2)	
276	241	9	「自動でかん水する装置があるといいな」	生徒にとって理解し難い表現である。 (課題の設定について理解し難い。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

2. 欠陥箇所

受理番号		106-260		学校	中学校	教科	技術・家庭	種目	技術・家庭（技術分野）	学年	1-3
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準						
	ページ	行									
277	241 - 243		2. 技術を組み合わせた問題解決 《統合例：自動かん水装置》 （全体）	生徒が自ら活動を行えるよう適切な配慮がされていない。 （製作・制作手順や留意点などについて説明が不足している。）	2-(14)						
278	242	中段左 図	「制御用コンピュータ」，「リレーモジュール」，「ブレッドボードLED点灯回路」，「ポンプ」，「土壌水分センサ」の接続図 （全体）	生徒にとって理解し難い図である。 （説明がなく理解し難い。）	3-(3)						
279	242	下	Scratchのプログラム （以下 241ページ右下 アクティビティ図）	相互に矛盾している。 （else部の処理）	3-(1)						
280	243	下	プログラム 追加した機能を表す文に赤い矢印	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （他にも追加された機能があるが矢印が無い）	3-(3)						
281	244 - 245		《統合例：AI画像認識によるクイズアプリのプログラミング》 （全体）	生徒が自ら活動を行えるよう適切な配慮がされていない。 （製作・制作手順や留意点などについて説明が不足している。）	2-(14)						
282	244 - 245		《統合例：AI画像認識によるクイズアプリのプログラミング》 （全体）	生徒にとって理解し難い表現である。 （どの分野を統合した例なのか。）	3-(3)						
283	244	右中	アクティビティ図	不正確である。 （判断ノードの先に説明ラベルが無い）	3-(1)						
284	244	2 - 3	インターネットを介して、カメラで映した画像などをAIが認識して、	生徒にとって理解し難い表現である。 （「インターネットを介して」は、どの段階か）	3-(3)						
285	244	7	②課題の設定と構想	生徒にとって理解し難い表現である。 （「と構想」）	3-(3)						
286	244	13 - 14	AIに人物の画像を学習させて、答えはテキスト入力していこう	生徒にとって理解し難い表現である。 （誰がテキスト入力を行うのか）	3-(3)						

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

2. 欠陥箇所

受理番号 106-260		学校 中学校	教科 技術・家庭	種目 技術・家庭（技術分野）	学年 1-3
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準
	ページ	行			
287	244	17	⑤設計 （以下 241ページ左下 必要な機器，部品，工具）	生徒にとって理解し難い表現である。 （必要なものが示されていない。カメラ，学習用画像など）	3-(3)
288	245	7	⑦設計・改善 [249ページ 5行] ⑦設計・改善	生徒にとって理解し難い表現である。 （「設計」）	3-(3)
289	245	下	⑦設計・改善 ●…。問題がある場合はデバッグを行う。 （以下 247，249，251ページ ⑦にデバッグ	相互に矛盾している。 （どの段階か）	3-(1)
			243ページ2-3行 ⑥-2 プログラミング …。問題がある場合はデバッグを行う。）		
290	245	中	通信 label-01 を受け取ったとき 通信 label-02 を受け取ったとき 通信 label-03 を受け取ったとき	生徒にとって理解し難い表現である。 （対応する送信命令が無い）	3-(3)
291	246 - 247		《統合例：AI音声認識を用いたLEDライト》 （全体）	生徒が自ら活動を行えるよう適切な配慮がされていない。 （製作・制作手順や留意点などについて説明が不足している。）	2-(14)
292	246	左下	④ケーブル	生徒にとって理解し難い表現である。 （何のケーブルか）	3-(3)
293	247	右上	Scratchのプログラム （以下 246ページ右下 アクティビティ図）	相互に矛盾している。 （判断ノード）	3-(1)
294	248 - 249		《統合例：経路案内システム》 （全体）	生徒が自ら活動を行えるよう適切な配慮がされていない。 （製作・制作手順や留意点などについて説明が不足している。）	2-(14)
295	248 - 249		《統合例：経路案内システム》 （全体）	生徒にとって理解し難い表現である。 （どの分野を統合した例なのか。）	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

2. 欠陥箇所

受理番号 106-260		学校 中学校	教科 技術・家庭	種目 技術・家庭（技術分野）	学年 1-3
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準
	ページ	行			
296	250		④接続用ケーブル	生徒にとって理解し難い表現である。 (何の接続用ケーブルか)	3-(3)
297	250 - 251		《統合例：AI音声認識で動作するペーパークラフト機構模型》 (全体)	生徒が自ら活動を行えるよう適切な配慮がされていない。 (製作・制作手順や留意点などについて説明が不足している。)	2-(14)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。